

おもしろ読書事典」活用事例 応募フォーム

1 学校についての情報

① 学校名	井原市立木之子小学校	② 電話番号	0866-62-1817
-------	------------	--------	--------------

2 取組状況

取組時期、期間等	平成26年11月4日～30日の読書週間中
対象範囲	1. 学級 2. 学年 ③. 学校全体 4. その他（具体的に ）
教育課程上の位置付け	1. 教科（ ） 2. 学級活動 ③. 児童会活動 4. 学校行事 5. その他（具体的に ）

3 取組の具体

- ・本校の児童は進んで読書に取り組むものの、選ぶ本に偏りがあるのが課題であった。
- ・偏りなく様々な分野の本に親しむことができるよう、読書週間中に「読書ビンゴ」をすることにした。
- ・読書ビンゴの枠内には、普段児童が避けている分野のもの（9 おはなし）や（20 ページ以上）などとページ数を指定したものを配置し、その本を借りて読むとビンゴが達成できるようにした。
- ・ビンゴ枠の中に、「おもしろ読書事典」の本という枠をいくつか作った。
- ・「おもしろ読書事典」の本を借りたら、目立つ色で枠を囲み、児童に意識をもたせた。
- ・児童が自分たちで「おもしろ読書事典」の本を探せるように、司書が以下の手だてをした。
 - ① 「おもしろ読書事典」がいつでも手が届くように、各教室・図書室に1冊ずつ置いた。
 - ② 「おもしろ読書事典」に掲載されていて、図書室にある本にはシールを貼って、児童が一目で分かるようにした。
 - ③ 図書委員が「おもしろ読書事典」に掲載されている本を他の児童に薦めることができるように事前指導をした。
 - ④ 何の本を読んだのかビンゴ用紙に題名を記録するようにし、どの本が「おもしろ読書事典」に載っている本なのか、他の児童にも伝わりやすくした。

4 成果

- ・児童は、意欲的に読書に取り組み、様々な分野の本に親しむことができた。
- ・読書週間が終わっても、「おもしろ読書事典」を見てから、本を選んで借りる児童がいる。
- ・「おもしろ読書事典」を見て、「この本も読んでみたい」「この本、ありますか？」という児童が以前より増えた。

